

木製玄関ドア

片開・親子・両開

グレイス

スタイル

GRACE/STYLE

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

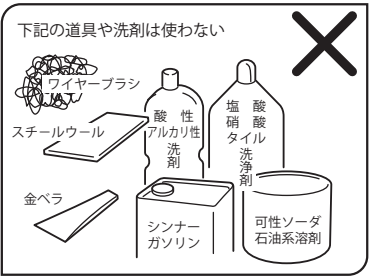
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 製品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一製品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社まで速やかにご連絡ください。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。

⚠ 必ずお守りください

- 安全について
 1. ドア本体(約45kg ※GRACEは約65kg)は重量があります。必ず2人以上で作業してください(事故・製品破損の原因)。
 2. 施工時はヘルメット、安全靴等を着用してください(事故原因)。
 3. 施工中のドアが倒れ、通行人や工事関係者が負傷しないよう、特にドア仮固定作業中は安全防護策を施してください。
- 製品取扱いについて
 1. 製品を開梱したら外観に損傷が無いかご確認ください。躯体取付け済み製品の損傷については保証対象外となりますので、取付け前に必ずご確認ください。
 2. 製品の養生は下記注意事項を厳守ください。
 - ①養生テープは直接表面に貼らないでください。
 - ②養生テープは粘着力の弱い養生用紙テープをご使用ください。
 3. 本製品は玄関ドア以外への転用及び改造しないでください。
- 施工について
 1. 施工場所
ひさし等を設置して、直射日光を1日2時間以内にする遮光措置、および通常の雨の際に直接雨がかからない措置を講じてください。
 2. 施工下地
ドアの重量は約45kg (GRACEは約65kg) です。開閉等に充分耐えられるよう、開口部を補強してから施工してください。
 3. 施工期間中の清掃方法
施工中の汚れ落しは、やわらかい布かスポンジに水をつけ、かたくしぼって拭いてください。落ちにくい汚れは中性洗剤をお湯でうすめて(うすめの度合いは使用する洗剤メーカーの使用書に従う)拭き落とし、すぐに水拭きをして洗剤分を落してください。洗剤分を落さない場合、化学反応により変色を早める原因になります。

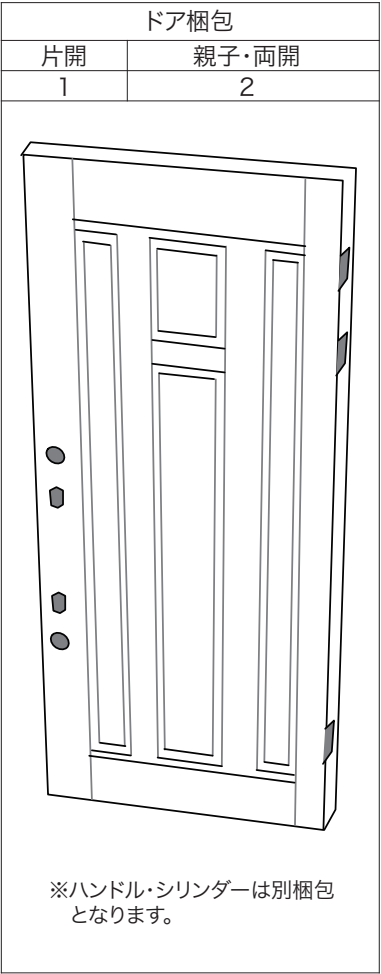
⚠ ご注意 ⚠

- (1) たわし・ほうき・ワイヤーブラシ・スチールウール等でこすらないでください。
表面に傷がつく恐れがあります。
- (2) シンナー・ガソリン等の有機溶剤、または中性以外の洗剤を塗布しないでください。
艶の変化や変色が起こる恐れがあります。
- (3) 自動車用ワックスをかけたり、化学雑巾で拭かないでください。艶の変化や変色が起こる可能性があります。



部材部品構成一覧

梱包	商品	片開用 個数	親子用 個数	両開用 個数	備考
枠	3方枠(ノックダウン)+下枠+取付フィン	1式	1式	1式	図面参照
ドア	木製ドア	1	1	2	図面参照
	木製ドア(子ドア)	—	1	—	図面参照
金物箱	ダンボール梱包	1	1	1	



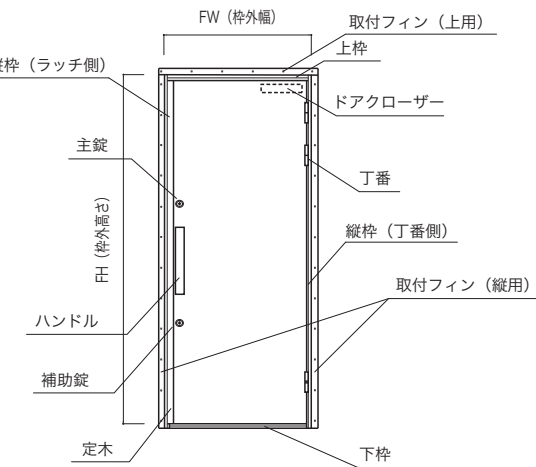
シリーズ名	品名	品番・仕様	数量			内容	取付説明書
			片開用	親子用	両開用		
GRACE	ハンドル	V-PXKJ-SK5 GOE(R・L)	1	1	2	両開用は片方固定式 工事用キー2本 お施主様用キー6本	同梱
	扉用丁番	K-334A特寸	3	6	6	皿小ネジM5×10 (D=8) 10本×枚数	
	ドアクローザー	S-23P CI	1	1	1		同梱

シリーズ名	品名	品番・仕様	数量			内容	取付説明書
			片開用	親子用	両開用		
STYLE	ハンドル	GOL43	1	1	2	両開用は片方固定式	同梱
	主錠／補助錠	V-LDKJ-5(CP)／V-LDK-5	1	1	1	工事用キー2本 お施主様用キー6本	
	扉用丁番	K-334A特寸	3	6	6	皿小ネジM5×10 (D=8) 10本×枚数	
	ドアクローザー	S-23P CI	1	1	1		同梱

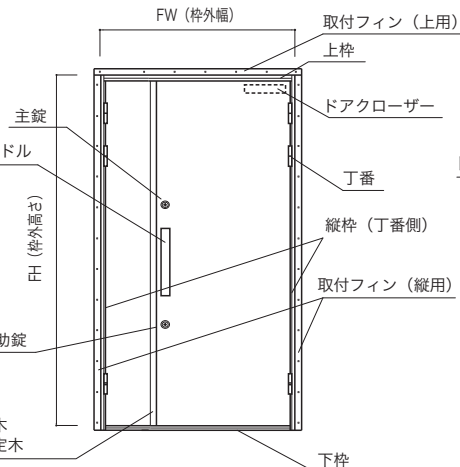
枠取付ビス袋内訳				片開	親子	両開
組立ビス	3方枠組立ビス	3.8×50 コーススレッド		6	6	6
	下枠組立ビス	4.2×65 コーススレッド		4	4	4
	取付フィン組立ビス	M4×20 トラストッピングネジ		32	33	36
取付ビス	躯体取付ビス 取付フィン	M4×20 トラストッピングネジ		30	31	34
	躯体取付ビス 3方枠	4.2×65 コーススレッド		13	14	16

各部の名称【姿図】

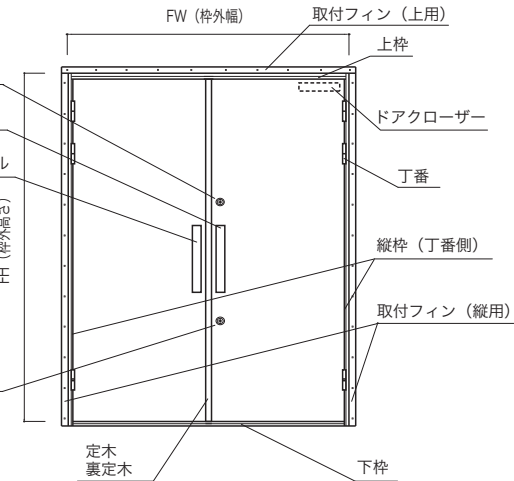
片開タイプ



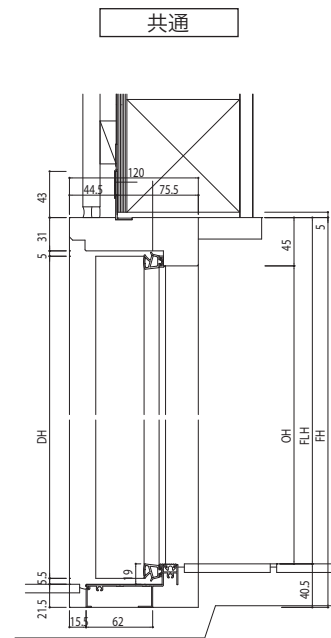
親子タイプ



両開タイプ



納まり図【縦断面図】



スタンダードサイズ表<片開タイプ> 単位:mm

寸法名称	サイズ	寸法名称	サイズ
FW	961	FH	2313
DW	890	DH	2250
OW	871	OH	2227.5
有効開口W	815	FLH	2272.5

スタンダードサイズ表<親子タイプ> 単位:mm

寸法名称	サイズ	寸法名称	サイズ
FW	1230	FH	2313
DW(KDW)	890(264.5)	DH	2250
OW	1140	OH	2227.5
有効開口W	817	FLH	2272.5

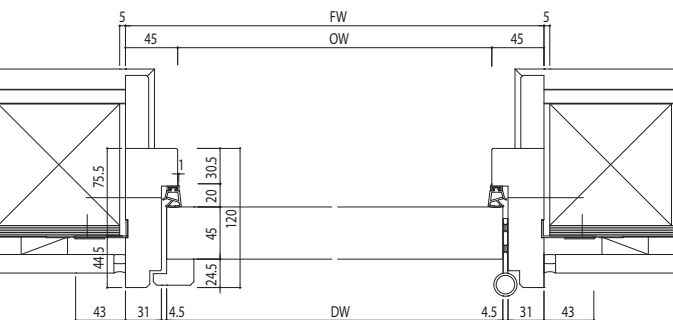
スタンダードサイズ表<両開タイプ> 単位:mm

寸法名称	サイズ	寸法名称	サイズ
FW	1855.5	FH	2313
DW(KDW)	890(890)	DH	2250
OW	1765.5	OH	2227.5
有効開口W	817	FLH	2272.5

納まり図【横断面図】

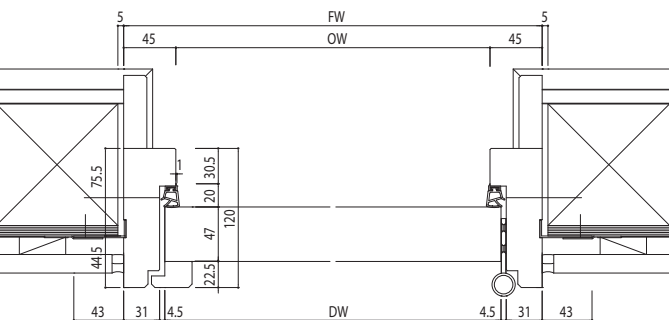
GRACE

片開タイプ

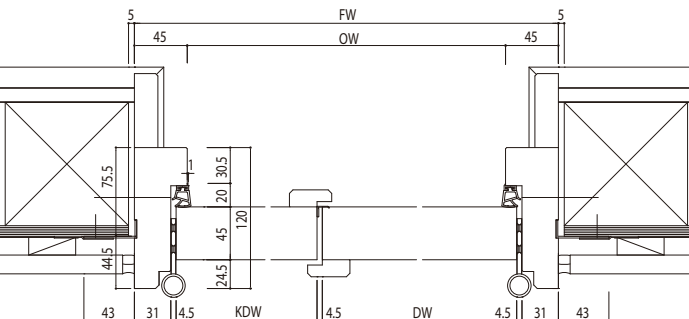


STYLE

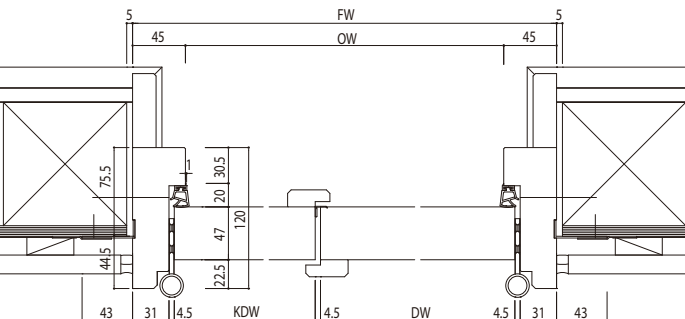
片開タイプ



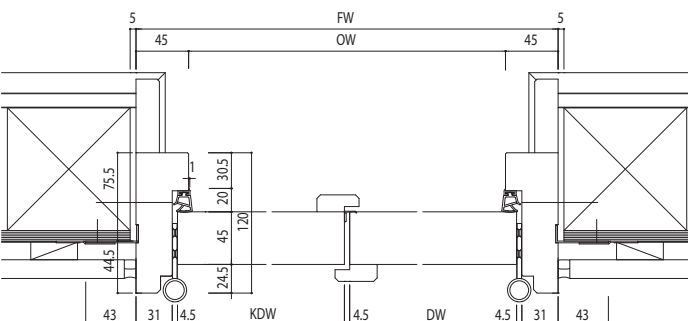
親子タイプ



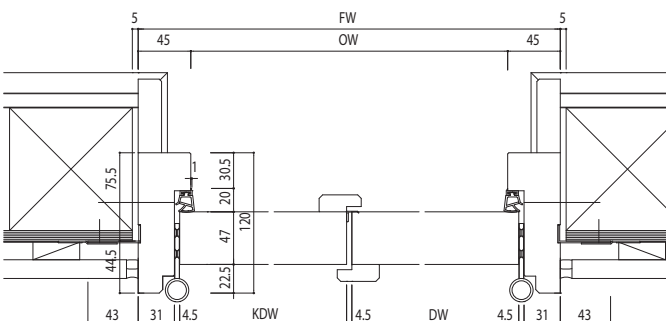
親子タイプ



両開タイプ



両開タイプ



《取付手順》

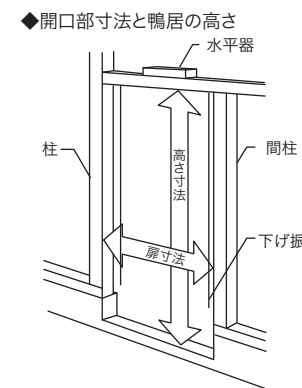
1 図面の確認

- 現場状況を、図面と照らし合わせて確認してください。

2 開口部の確認

- ドアの重量は約45kg（GRACEは約65kg）です。開閉時の衝撃などにも十分に耐えられるように、しっかりした躯体に施工してください。
 - 開口部の柱・間柱の垂直、まぐさの水平をレーザー照準器・下げ振り・水平器等の計測器で確認してください。傾斜がある場合は修復してください。
 - 傾斜した開口部、ねじれた開口部には施工しないでください。
 - 開口部はFW寸法より10mm程度、FH寸法より5mm程度広くしてください。
 - 下枠のレベルだしを行い、室内土間及び室外土間のレベルが間違いないか確認してください。
 - 枠の張り出し寸法は、取付躯体から44.5mmです。通気層・外壁材・水切りなどが納まるか確認してください。
- ◆開口部寸法と鴨居の高さ

The diagram illustrates the measurement of the opening section and the height of the lintel. It shows a cross-section of a wall with a door opening. Labels include '柱' (column), '間柱' (inter-column), '高さ寸法' (height dimension), '幅寸法' (width dimension), '下げ振り' (plumb line), and '水平器' (leveling tool).



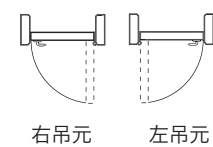
3 商品の確認

- 枠、ドアの部材点数、金物点数を確認してください。
 - 傷、破損がないかを必ず確認してください。
- ★Point★**

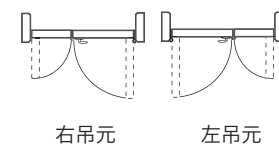
 - ・部材部品構成一覧のリスト内容で確認してください。

◆吊元参考図

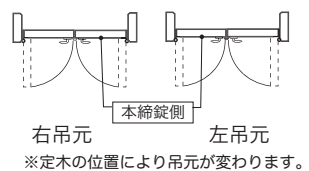
<片開タイプ> <親子タイプ> <両開タイプ>



＜親子タイプ＞



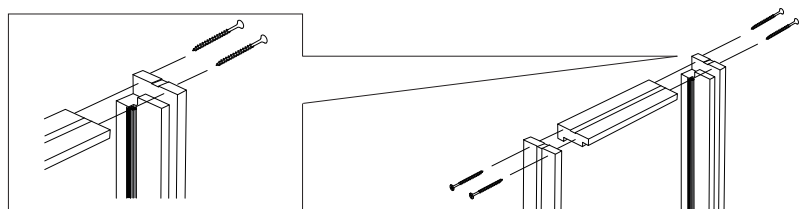
＜両開タイプ＞



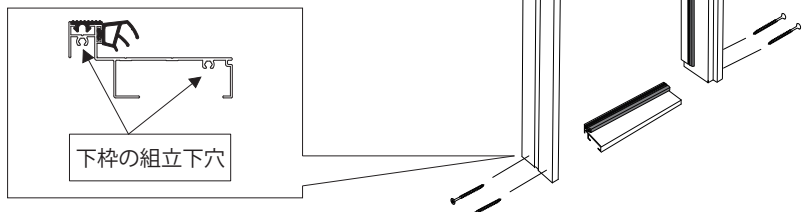
※定木の位置により吊元が変わります。

4 枠の組立て

- 3方枠を枠組立ビスで組み立ててください。
縦枠と上枠の仕口を下図のように組合せ、縦枠上部の下穴に枠組立ビスを入れ、上枠をしっかりと固定してください。



- 下枠を下枠組立ビスで組み立ててください。



※気密材は長めに同梱されているので、サイズに合せカットしてください。

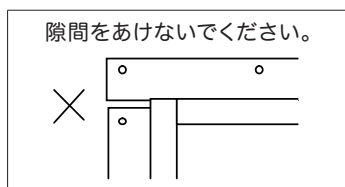
△ご注意 △
接合部に隙間のないように組み立ててください。

△ご注意 △
接合部に気密材等の樹脂部品を挟まないでください。

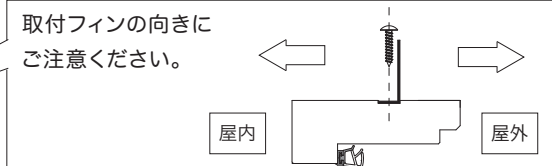
△ご注意 △
ステンレスカバーは、ドアの本吊り込み後に取り付けます。大切に保管してください。

5 取付フィンの組付け

- 取付フィンを3方枠の溝に確実にはめ込んで、取付フィン組付ビスで組み付けてください。



△ご注意 △
取付フィンの組付けは、下穴の全箇所を固定してください。



△ご注意 △
溝からはみ出ると、雨水の浸入の原因になります。確実にはめ込んでください。

6 躯体開口部への枠の仮取付け

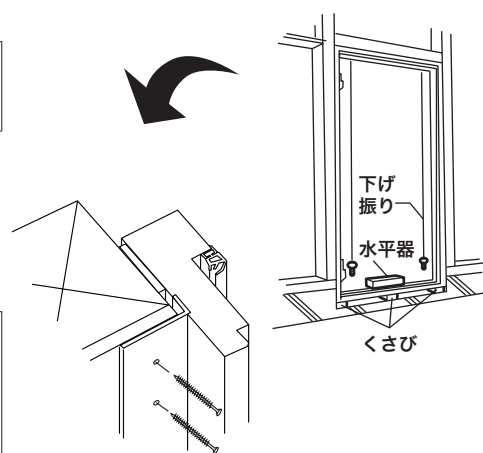
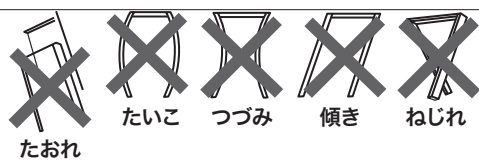
- 躯体開口部に組み立てた枠をはめ込んで、取付フィンを数箇所、躯体に仮固定してください。

△ご注意 △
下枠のレベル位置を合わせてください。

- 枠の曲がりを確認してください。レーザー照準器・下げ振り・水平器等の計測器を使用して、傾斜がある場合は修正してください。

△ご注意 △

右のような曲がりが生じた場合、扉が閉まらない、鍵がかからないなどの不具合が生じます。必ず修正してください。



7 ドアの仮吊り込み

- 丁番側の取付フィンを躯体に固定してください。

△ご注意 △

扉の重量は約45kg (GRACEは約65kg) です。確実な躯体に固定してください。

- 扉に扉用丁番を取り付けてください。

△ご注意 △

丁番固定ビスが丁番から突出しないように打ち込んでください。

- 枠側丁番に、扉側丁番を差し入れ、扉を仮吊り込みしてください。

△ご注意 △

・必ず2人以上で作業してください。
・扉を90度以上開いた状態で吊り込みしてください。上枠に傷をつける可能性があります。
・下枠は固定されていない状態です。荷重がかからないように慎重に作業してください。

★Point★

中間丁番を、吊り込み後に取り付けると、比較的簡単に吊り込めます。すぐに取り付ければ、影響はございません。

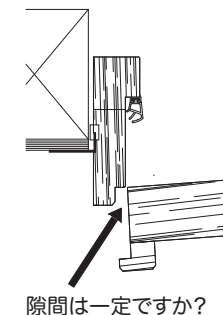
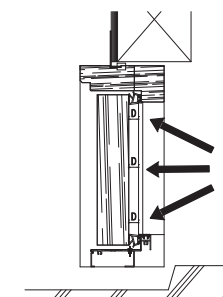
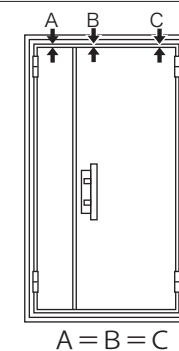
- 扉を閉めて、枠と扉のクリアランスを確認し、曲がりがある場合は修正してください。

△ご注意 △

扉は慎重に閉めてください。軽く閉まらない場合は、扉が枠に当たっている可能性があり、そのまま閉めると、傷や破損の原因になります。

★Point★

1. 上部の隙間は一定ですか？
2. 気密材と扉のクリアランスは一定ですか？
3. 扉手先の隙間は一定ですか？



8 枠の本取付け

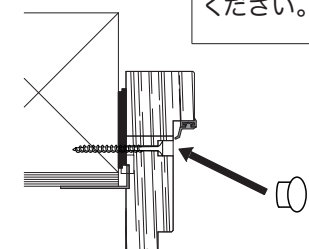
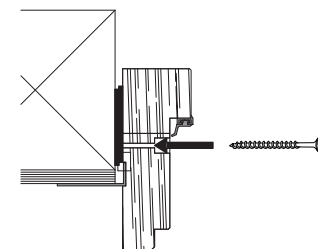
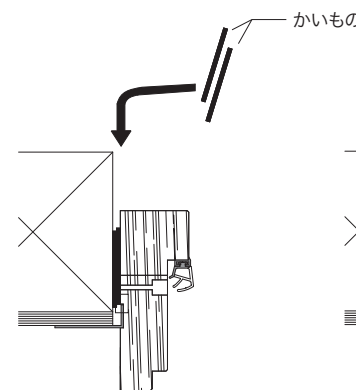
- 取付フィンを全箇所、躯体に固定してください。
- 枠と躯体の隙間に、かいものを詰めて下穴から枠固定ビスで固定してください。
- 化粧栓を圧入して、枠固定ビスの下穴を化粧してください。

△ご注意 △

必ず専用ビスを使用ください。枠の材料に特殊な処理を施しており、他のビスを使用した場合、著しい錆が発生する恐れがあります。

△ご注意 △

必ずかいものを詰めてからビスで固定してください。



8 枠の本取付け(つづき)

- 下枠の内部にモルタルを十分に充填してください。

△ご注意 △

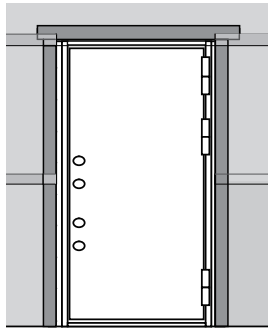
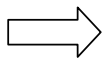
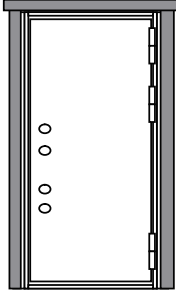
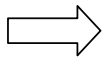
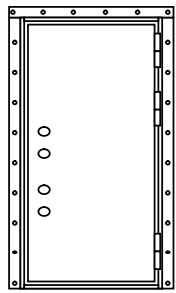
モルタルは必ず内部にも充填させてください。不十分な場合、変形する恐れがあります。

- 枠周りの防水処理を行ってください。

★Point★

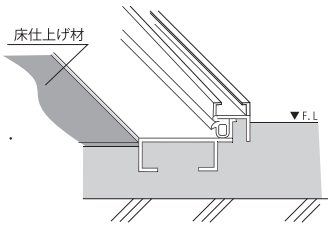
75mm以上の防水両面テープ等を取り付け、フィンの躯体固定ビスを隠すように施工してください。

防水シート等を防水テープにかぶせるように施工してください。



△ご注意 △

- ・テープを貼り付ける部分の油分やホコリを除去してください。
- ・浮きやしわが生じないように施工してください。
- ・取付フィン端部・ビス部分等の凹凸がある部分、テープの重なり部分はヘラ等を用いて強くこすり付けてください。



9 ドアの本吊り込み・金物取付け

- 仮吊り込みの後に扉を撤去した場合は、再度扉を吊り込んでください。
- 主錠・補助錠・ハンドル・ドアクローザーを部品に同梱された説明書を参照し、扉に取り付けてください。

△ご注意 △

- ・インパクトドライバー、電動ドライバーは使用しないでください。
- ・ハンマー等で無理に挿入しないでください。

△ご注意 △

金物に同梱された説明書を確認してください。取付けの箇所、順序を間違えると機能しないことがあります。

■ハンドルの取付け

ケースロック(およびフロントプレート)は扉に取り付けられています。座およびハンドルを取り付けてください。

★Point★

ケースロックを固定しているビスを緩めると取付けしやすくなる場合があります。

■主錠・補助錠の取付け

ケースロックは扉に取り付けられています。シリンダーおよびサムターンを取り付けた後、フロントプレートを取り付けてください。

★Point★

ケースロックを固定しているビスを緩めると取付けしやすくなる場合があります。

■ドアクローザーの取付け～パラレル型取付け

- ・クローザーの型紙に合せブラケットを取付けてください。
- ・固定プレートにクローザー本体を取り付けてください。
- ・ストッパーの角度を調整してください。
- ・アームをクローザー本体に取り付けた後、ブラケットと連結してください。
- ・化粧キャップを取り付けてください。

△ご注意 △

速度調整と開き角度調整を必ず行ってください。詳しくは、部品同梱の説明書をご覧ください。

10 ステンレスカバーの取付け

- 保護フィルムをはがし、ステンレスカバーを下枠にかぶせてください。

△ご注意 △

枠に傷がつかないように、慎重にかぶせてください。

★Point★

若干すらすとかぶせやすくなります。

- 同梱されたビスで下枠に固定してください。
- フランス落しの受けを取り付けてください。 **親子タイプ** **両開タイプ**

★Point★

ケーシング(オプション)を取り付ける場合は、同梱の説明書に従い施工してください。

★Point★

片袖FIX(オプション)を取り付ける場合は、同梱の説明書に従い施工してください。

11 最終調整

- 開閉の最終調整をしてください。

★Point★

- ・扉の動作が重い → 扉が枠に当たっていませんか？ ドアクローザーの調整は充分ですか？
丁番の軸心は垂直線上になっていますか？ 気密材が挟まっていますか？
- ・音がする → 丁番の軸心は垂直線上になっていますか？ 丁番の取付けが曲がっていませんか？
金物は正常に取り付いていますか？

- ハンドル・主錠・補助錠の動作を確認してください。不具合がある場合は、前述9項の作業を再度行ってください。
- ビスの締まりを確認してください。

12 クリーニング・養生

- 製品に付着した汚れを除去してください。

△ご注意 △

- ・ドアを拭く際は乾いた布で行ってください。
- ・クリーニングは、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ・ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
- ・ワックス等を塗りすぎないようにしてください。



- 製品全体を養生してください。

△ご注意 △

一部分が露出していると、日焼けによる色の差が生じることがあります。

△ご注意 △

養生テープは粘力の弱い紙製の養生テープを使用してください。ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘力の強いものがあり、表面を傷める危険があります。使用しないでください。

13 引渡しまでの注意

- 工事中は、コンストラクションキーを使用してください。2本同梱されております。
- 長時間、水分が付着しないようにしてください。
- その他カタログ等に記載された免責事項をご覧ください。